

整理番号	30005
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年12月22日
事業担当課	商工振興課
担当者・内線	高比良、平田・2824

《基本情報》

事務事業名	長崎開港記念行事補助金		<input type="checkbox"/> 新規
			<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	C2 域外経済への進出を加速します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	地場企業が	市場での競争力を高め、域外で売上高を増やしている。	
個別施策	C2-2 地場企業のアジアをはじめとする海外展開を支援します		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	地場企業が	海外との取引を拡大している。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<p>○長崎開港記念会では、長崎港の前途の発展を祈念、祝福し、もって長崎地域経済の一層の振興に寄与することを目的として、毎年、長崎港の開港の実現に尽力された幾多の先賢を偲ぶ「先賢顕彰式」や「ながさきみなとまつり」など、様々な記念行事を実施している。</p> <p>○開港記念行事のなかでも、「ながさきみなとまつり」は、「ステージイベント」や「花火大会」をはじめ、「先賢行列 長崎さるき」や「福山雅治杯 きやあまぐる坂GP」など、多くの市民から親しまれる催しを行っており、約30万人の市民や観光客が港に集うなど、長崎の夏まつりとして定着している。</p> <p>○長崎港は、1571年の開港から令和3年には450周年を迎えることから、開港450周年記念事業の開催を予定している。</p> <p>○長崎は貿易、水産、造船など海と港とともに発展してきたまちで、海と港に関連した産業が集積している。今後、これらの資源を最大限に活かしたまちづくりを進めていくためには、450周年記念事業を一つの契機として、市民や事業者等の気運の醸成を図り、改めて長崎と海や港の関わり並びに重要性について再認識してもらう必要がある。</p>
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	<p>○開港450周年記念事業を一つの契機として、海と港を活かしたまちづくりの推進を図るためにも、市民や事業者などが長崎の海と港の楽しさや素晴らしさを再認識し、あわせて、長崎の今後のまちづくりへの積極的な参画を促したい。</p> <p>○450周年記念事業においても、「ながさきみなとまつり」は夏のメインイベントとして位置づけられていることから、「ながさきみなとまつり」をより充実した内容に拡充することで、市民等に長崎の港の楽しさやすばらしさを実感していただき、「港を活かしたまちづくり」に対する市民等の参画を促し、機運の醸成を図る。</p>
課題(どういことをする必要のあるのか)	<p>○令和3年4月実施予定の「長崎開港記念行事」や7月開催予定の「ながさきみなとまつり」は、長崎開港450周年記念事業のメインイベントの一つに位置づけられており、特に長崎の次の50年を担う子供や若者など多くの市民等が港に集まり、港の楽しさや素晴らしさを実感してもらうためにも、これまでよりも更に充実した内容で開催する必要がある。</p>

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)</p>	<p>長崎港は、来年には開港450周年を迎えることから、「ながさきみなとまつり」をはじめとする開港記念行事を行う長崎開港記念会の取組みを拡充させ、長崎の海と港の楽しさや素晴らしさについて市民の再認識を図るとともに、長崎開港450周年を一つの契機として、海と港を活かした地域経済の振興などまちづくりを進めるための気運の醸成を図る。</p> <p>1 補助額 12,000千円(R1年:4,000千円) 2 補助金について (1)補助対象者 長崎開港記念会 (2)補助対象経費 ・「先賢顕彰式」、「ながさきみなとまつり」など、長崎開港記念会が実施する事業に要する経費 (3)実施内容 総事業予算55,600千円(+19,633千円) ※R1予算35,967千円 i 開港記念行事(先賢顕彰式、開港記念講演会) 予算 1,400千円 (±0千円) ii 「ながさきみなとまつり」開催 予算 42,350千円(+18,200千円) iii 長崎開港450周年記念花火大会(16,000発) 予算 11,850千円 (+1,433千円) (拡充内容) ・ステージ機器等の拡充、新規ステージイベント、LIVE(拡充) 6,100千円増 ・新規企画、市民参加型イベントの実施 5,300千円増 浴衣コンテスト・みなとのフォトコンテスト・フォトコンテスト作品の展示、キッズカラオケエキサイトダンスバトル・みなとでバーベキュー・ドローン映像生配信 等 ・「先賢行列 長崎さるき」拡充(演舞会場の拡大 等) 2,300千円増 ・広報宣伝の強化 700千円増 インスタ、SNS配信、テレビCM、ラジオ、情報誌掲載 等 ・会場管理費・保険費の増 3,800千円増 コロナ対策、熱中症対策 等 (拡充計) 18,200千円のうち対象経費16,000千円 ※そのうち1/2(8,000千円)を上乗せ補助 市負担分:(従来分)4,000千円+(拡充分1/2)8,000千円 12,000千円</p>						
<p>業務量の増減</p>	<p>増減なし</p>						
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働</p> <p>関連団体と連携しながら、開港記念行事の拡充を図る長崎開港記念会の取組みを支援していく。</p>						
<p>事業期間</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>						
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>	
	<p>当年度</p>	<p>12,000</p>				<p>12,000</p>	
	<p>総額</p>						
	<p>財源名称</p>						
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>開港記念行事の集客数</p>					
	<p>年度</p>	<p>令和1年度</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	
	<p>目標値</p>	<p>30万人</p>	<p>中止</p>	<p>40万人</p>			
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>開港450周年に向けた「ながさきみなとまつり」などの開港記念行事への市民の関心を高めるため、開港記念行事への集客数を成果指標とする。</p>					

評価結果

(1) 今後の事業の方向性と理由

<input type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

長崎開港450周年を迎えることから、「開港記念行事」、「ながさきみなとまつり」等の長崎開港記念会が拡充して実施する取組みに対し支援を行うもの。

長崎開港450周年を契機として、市民や事業者等が長崎の海や港の素晴らしさを再認識することで、今後のまちづくりへの積極的な参画が期待できることから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【市長ヒアリングまでに(予算計上にあたって)整理すべき事項】

・補助対象経費の項目及び補助率の考え方を分かりやすく示すこと。